

将来負担比率を羽田市政平成21年時に**68%**から平成27年には**0%**となった。
そして枝広市政は継続し現在も様々な変革を実行しながらも**0%**を維持している。
このような未曾有のコロナ危機に、福山市財政は他都市に比較し、かなり潤沢な財源を持っている。

将来負担比率の推移	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
	68.2	56.1	46.4	36.7	22.7	7.6	—	—	—	—

将来負担比率の「—」は、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、比率が算出されなかった事を表します。

将来負担比率

地方公共団体の一般会計等が**将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模**に対する比率のことで、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。

SNSでのお約束(いいね!750件以上、コメント500件以上、シェア200件以上を達成)

公約どおり私の考える「コロナ対策政策」を公開します。

今こそ

200億円基金を 取り崩すべきだ!!!

これまでの福山市政に感謝!
今が政治家の資質が問われる時!!



福山市立大学研究生で学び直し!! 連載

村上栄二です。



記事詳細は
こちらから

プロフィール

りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元へ恩返しをしたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

村上栄二なら、年内100億円は対策に投じる!

- 財政調整基金で市民生活を支えられる
- ・今、市民が欲しいのは福山市政が未来への希望を提供しこまめな情報開示する事。
 - ・市民がコツコツ貯めてきた貯蓄を使うタイミング。
 - ・福山市財政状況資料集(2018年公表時)によれば、**充当可能基金432億円**あるが、現段階で**自由に使える財政調整基金が205億3200万円**。
 - ・充当可能基金は何でも使えるわけではなく、医療に使える基金や広島県で言えば県庁建替え基金等があった。
 - ・いざとなれば基金の条例改正で充当する事も視野に。(私は平時の考えでは反対です)
 - ・使うと将来負担比率が上がる事は間違いない。
 - ・コロナ禍と少子高齢化で財政が厳しくなるがここを乗り越り市民負担をみんなで背負う。
 - ・地元企業、飲食店を守らなければ**税収は大幅減**。
 - ・行政が「**なんの負担を背負うのか?**」を、より具体的に市民へ提示することが必要。